

のびゆくこどもプラン 小金井（素案）

3つの視点と6つの目標からみる 小金井市の取組



自分たちに関わる小金井市の取組、気になるよね？
関係があるのは子どものうちだけじゃないよ。
大人になって、親になったとき、小金井市は何をしてくれるだろう？
本当に困ったとき、頼りになるのはどんな取組だろう？
自分たちは、地域に何ができるんだろう？

小金井市は、子ども一人ひとりが夢や希望を持って育つことができるよう、
子育て（子どもの成長）・子育てを切れ目なく支えています。

のびゆくこどもプラン 小金井について

計画期間（この計画の対象期間）

令和7（2025）年度～令和11（2029）年度

計画書ってなに？

この冊子は計画の大事なところをピックアップして解説した概要版です。なぜこの計画を作るのか、小金井市が今どんな状態でこれからどうしようとしているのか、具体的な取組など、計画の全体を説明した計画書が別にあります。

計画書の目次

- 第1章 計画の策定にあたって
- 第2章 小金井市の子ども・子育てを取り巻く環境
- 第3章 基本理念・視点
- 第4章 施策の展開
- 第5章 子ども・子育て支援事業計画
- 第6章 計画の推進体制
- 資料編

子ども・若者版の見かた

次のページからは、基本理念と基本的な視点、基本目標が見開きで載っています。見開きページに各目標へのガイドがついていますので、まずは見開きで興味のあるところを読んでみて、興味がわいたら詳しい内容のページを開いてみてください。詳しいページには具体的な取組も紹介しています。今の自分、成長した自分、大人になった自分を想像しながら読んでみてくださいね。

計画書はこちら！



検索キーワード

小金井市のびゆく意見募集



基本理念

小金井市の子育ち・子育て支援の
総合的な施策を推進していくことにより
子どもの権利が保障され、子どもの幸福を実現する

小金井市では、子どもが本来的に持っている潜在力を発揮し、主体的に自分の人生を切り開く力を身に付け、自尊感情を持ちながら成長し、自分らしく生きていくことが子どもの幸福につながると思っています。

また、子どもは、「子育て」の対象であるとともに、自ら伸びやかに育っていく「子育ち」の主体者でもある、という考え方のもと、「子育ち」と「子育て」の両輪を支えていきます。



視点



子どもが心豊かに成長できる

増加を目指します！

- 自分のことが好きだと思える割合
- 家や学校以外で居たいと感じる場所がある割合
- 子どもの権利が守られていると思う割合

どんな時でも、子どもの権利と利益を考えながら、子どもの安心・安全を守り、子どもの権利がいかされる社会環境を作っていきます。

また、子どもや若者の意見が大切にされる体験を増やすなど、豊かな体験と仲間づくりを支援することで、すべての子どもが心豊かに成長できるよう目指します。

目標1 子どもの最善の利益が守られている



子どもの権利 守られているかニャ？
守られていなかったらどうするニャ？

この目標何するの？
子どもの権利って何？
目標1の詳細は

4ページへ

目標2 子ども・若者が豊かな体験と仲間づくりができる



放課後、気軽に行ける 居場所 があつたらいいかも。

この目標何するの？
どうやって居場所を増やすの？
目標2の詳細は

5ページへ



視点

2

子育て家庭が 子育ての喜びを感じられる

増加を目指します！

- 子育てを楽しんでいる割合
- 市の子育て環境や支援に満足している割合
- 子どもの権利が守られていると思う割合

家庭がやすらぎと笑顔に満ち、子育ての楽しさや喜びを感じられるよう、社会全体で子育て家庭を支えます。

さらに、困りごとを抱えた家庭や子どもにきめ細かな支援をすることで、すべての子育て家庭が子育ての喜びを感じられるよう目指します。

目標3 子育て家庭が必要な支援につながっている

この目標何をするの？
子育て家庭の相談先ってどこ？
目標3・4の詳細は
6ページへ

親だって迷ったり困ったりするよね。

子育てが不安なとき どうすれば？



目標4 子育て、子育て家庭の困難が軽減されている

障がいのある子などへの支援も
気になるニャア。



視点

3

地域で子育て・子育てを支え、 まちが笑顔であふれる

増加を目指します！

- 地域の子ども・子育て支援に関わりたと思う割合
- 地域の子育て支援活動が充実していると思う割合

子どもは人や自然との関わりの中で育ち、子どもを育む地域は家庭を包む大きな社会です。次世代の小金井市民を育てていく地域環境を整備することで、地域の様々な人々の関わりが生まれ、その関わりによって楽しく・豊かな子育て・子育てができる、地域で子育て・子育てを支え笑顔があふれる街を目指します。

目標5 地域社会が子育てを見守り支えている



地域ぐるみで取り組む ことで
子どもを支えようとしているんだ。

目標6 地域社会が子育てを見守り支えている

地域のネットワーク で
子育てを支えていくんだね。



この目標何をするの？
地域で支えるってどう
いうこと？

目標5・6の詳細は

7ページへ

目標1 子どもの最善の利益が守られている

目標の方向性

市民一人ひとりが子どもの権利について理解し、子どもの置かれている環境等にかかわらず、その権利が尊重され、将来にわたって生き生きと健やかに安心して暮らせるまちの実現を目指します。

このページは僕が紹介するよ！



小金井市の主な取組

「子どもの権利」や「子どもオンブズパーソン」を広める

子どもが意見を言いやすくする

児童虐待防止等の対策とヤングケアラー支援

いじめ・自殺の防止、薬物の乱用や犯罪等から守る



この目標では **子どもの権利** がすごく大切なんだ。主な取組は、子どもの権利を守るため、子どもの権利が守られる社会にするために必要なことをしているよ。

小金井市の考える「子どもの権利」

安心して生きる権利



自分らしく生きる権利



ゆたかに育つ権利



意見を表明する権利



支援を受ける権利



小金井市にはなんと、「小金井市子どもの権利に関する条例」という、子どもの権利を守るための独自の市の決まりがある。上の5つはこの条例の中で、小金井市が守っていく子どもの権利として挙がっているんだ。



子どもオンブズパーソンとは

子どもの権利を実現する文化や社会をつくるために設置された、子どものための相談・救済機関です。友だちのこと、家族のこと、塾や学校でのこと、自分のこと、どんなことでも相談できます。

相談方法

会って・電話で

☎ 0120-770-977

(無料・子どものみ)

☎ 042-388-4370

(大人用)

電話できる曜日と時間

月・火・水・金 13～19時
土 10～16時

手紙で

いつでも

あてさき
〒184-0012
小金井市中町 3-9-10
Costa4 階
子どもオンブズパーソンあて



相談したいことがあってもなかなか踏み切れない！
ってこと、あるよね。

子どもオンブズパーソンは「秘密厳守」の相談屋さんだから相談しやすいよ。

相談するか迷ったら、連絡してみてね！



メールでも相談できます



検索キーワード

小金井市子どもオンブズ



目標2 子ども・若者が 豊かな体験と仲間づくりができる

目標の方向性

「小金井市子どもの居場所づくりの推進に関する指針」に基づき、これまでの子どもの居場所づくりを継承するとともに、新たに若者の視点を加え、取組を進めます。

ここは私にまかせて！



小金井市の主な取組

子ども・若者の居場所を増やす

子どもの居場所に関する取組を進めやすくする

どうして**居場所**なのかって？
調査の結果、居場所を確保することは子どもにとって大切なことが分かっているの。



子どもや若者の意思が尊重される体験や子どもの居場所・交流の場を充実させることが豊かな体験や仲間づくりの支援になると考えているの。すべての子どもが心豊かに成長できるように願っているわ。

居場所って何だろう？U30こがねい会議室より

令和6年6月、「あなたの居場所について」をテーマに、おおむね15歳～29歳の29名が話し合いを行いました。居場所には単なる「場所」という意味だけでなく、「人」との関りや「時間」の意味もあることを確認した上で、活発に意見を交換しました。



- 若者同士の交流を多くすることでもっと良い「居場所」に
- お祭りやイベントの場が欲しい
- イベントなどを通じて同世代や異世代、地域と交流し、ともにまちづくりをしていき、地域に愛着を持つことで小金井市に長く住んでいきたい



勉強するスペースが欲しいなど、他にも様々な意見があったわ。
参加者からはおおむね好評で、またやりたいという声も多かったの。交流が楽しいだけでなく、まちづくりに参加したいという理由もあるみたいよ。
小金井市では他にも「小金井（しょうがねい）を変えちゃう人の会」など、子どもや若者の意見を取り入れるための取組をしているわ。機会を見つけたら参加してみて！

小金井市の具体的な取組の例

頂いた意見も踏まえて子どもや若者の意見を反映させるための取組など、様々な取組を進めていきます。

じどうかん
フェスティバル

中学校生徒会による
意見交換会

子どもの体験事業

- 自然体験教室
- わんぱく団
- 図書館の職場体験

など

思春期相談

冒険遊び場事業
(プレーパーク)

目標3 子育て家庭が 必要な支援につながっている

目標の方向性

母親の就業率が上昇する一方で地域活動やつながりが希薄化し、子育ての悩みを相談できない保護者が増加しています。家庭の不安解消や、誰にも相談できず孤独に子どもを育てる「孤育て」防止のため、妊娠期から子育て期にわたる支援や保育体制の整備が必要とされています。

小金井市の主な取組

妊娠期から子育て期の
切れ目のない支援

子育て相談・家庭支
援サービス等の充実

多様化する保育等
ニーズへの対応

生活困窮家庭への支援



大人だって悩んだり、不安になったりするよね。ここでは、子育てについて相談できるこども家庭センターの窓口を紹介するよ。小金井市にはほかにも教育相談窓口などがあるんだって。悩んでいるお父さん・お母さんがいたら紹介してあげてね。

子育て相談（こども家庭センター）

☎ 042-321-3146

午前8時30分から午後5時（月曜から金曜）
午前9時から午後5時（土曜）

目標4 子育て、子育て家庭の困難が 軽減されている

目標の方向性

貧困や格差の広がりから、社会の仕組みから取り残されていく人たちの問題が深刻化しています。また、全国的に要支援・要保護児童や特定妊婦が増えています。ライフステージを通じた医療・保健・福祉・保育・教育関係者の緊密な連携の確保とネットワークを充実させ、貧困・障がい・養育困難などに対しては地域や関係機関とも連携しつつ、課題に応じた支援策を強化していく必要があります。

小金井市の主な取組

ひとり親家庭の支援

特別に支援が必要な
子どもに対する支援

子育て・子育てに困難
を抱える家庭への支援

外国籍の子どもと
家庭への支援



発達障がいには早期の発見や療育支援が大切との考えが広がっているよ。小金井市では、平成25年10月に小金井市児童発達支援センター「きらり」を開設して、様々な支援をしているんだって。

特別な配慮が必要な子ども（障がい児等）の保育や教育ニーズに応えるため、保育や教育現場に携わる人が、障がいについての正しい知識や理解を持ち、学習面や生活面において関係機関と継続して連携できるよう、支援策を強化していくよ。

目標5 地域社会が子育てを見守り支えている

目標の方向性

子ども・若者や子育て当事者をめぐる課題は深刻化・複合化しており、あらゆる分野の全ての人が協力して子ども・若者や子育て当事者を支える必要があります。

子どもは家庭の中だけでなく、多様な地域との関わりの中で育つ存在です。すべての子どもたちがその能力をいかに発揮し、自分らしく生きることができる社会を地域ぐるみで創ることが求められます。

小金井市の主な取組

子どもが安心して学べる環境をつくる

子どもが地域の一員となるための学習と交流の場をつくる

子育て、子育てしやすい生活環境等の整備

地域の緑と環境を守る



注目1

異年齢交流

小・中・高校生が乳幼児とのふれあいを通じて、社会体験学習と育児感覚を身につけたり、地域の大人と交流したりできる場を設ける。

地域と関わる機会って意外とあるのかもしれないな。



注目2

各種催し物における、中高生ボランティアの受入

子ども週間行事などで中高生ボランティアの受入を実施する。



目標6 地域社会が子育てを見守り支えている

目標の方向性

共働き世帯の増加を受け、仕事と育児の両立を支援し、男性の家事・育児参加を促進します。子育てと自己実現を両立できる環境を整え、職場や地域がそれを支援する取組を強化します。

また、必要な情報や支援を提供し、子育てが社会全体の未来に関わるという意識を広め、家庭と地域で子どもを大切に育てられる社会を目指します。

小金井市の主な取組

地域の子育てネットワークの整備

誰もが子育てと社会参加できる環境づくり

地域の公共施設の活用を進める

家庭だけでなく地域で子どもを育てる意識が大切なんだ。

小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会

小金井市内で子育てや子どもに関わる活動をしている多くの市民団体と関係機関等が、ゆるやかにつながり連携し、いろいろな事業を行って、小金井の子育て・子育てを応援していくために設立された協議会です。

子育て情報サイト「のびのびーの」や子どもが居場所を見つけるサイト「えにえに」もあるよ。



小金井市では子ども・若者の意見を取り入れる取組をはじめています

(令和5年度、令和6年度の実施例)

キッズカーニバル KOGANEI

対象：未就学～小学生

「居場所」に関する質問を書いたポスターを用意し、選択肢の中から子ども自身が選んだシールを貼り付けることで意見を出してもらいました。

とても楽しいと感じる場所や楽しいと感じる理由、過ごし方などについて約270名が回答してくれました。



小金井(しょうがねい)を 変えちゃう人の会

対象：中学生

中学生自身が議論や発表の進め方などを検討して開催されました。令和5年度は、「私たちのまち・学校をどうしたいか」をテーマに3回実施しました。

30名参加し、子ども主体のイベントを創りたい、施設を誰でも楽しく利用できるようにしたいなどの意見が出されました。



U30 こがねい会議室

※5ページで紹介しています。

対象：おおむね15歳～29歳

令和6年に、「あなたの居場所について」をテーマに、29名が6チームに分かれてグループ協議を行いました。

小金井市に聞いてほしい意見を発表したり、「居場所」をより良くするためのアイデアを出してもらったりしました。



ご意見をお寄せください!

「のびゆくこどもプラン 小金井(素案)」 パブリックコメント募集中!



パブリックコメントとは?

小金井市が考えている計画などに対して、市民の声を反映するための仕組みのことです。お寄せいただいた意見は全て市で確認し、必要であれば計画等に反映します。

募集期間：令和7年1月6日～令和7年2月5日

提出方法：住所・氏名・施策名称を明記し、直接、郵送(必着)、ファクシミリ又は市ホームページ専用フォームで子育て支援課にお寄せください。

郵送：〒184-8504 住所不要 子育て支援課宛て

FAX：042-386-2609

WEB：<https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/kosodate/nobiyuku/nobiyukupabu2025.html>



小金井市子育て支援課

住所 小金井市本町6-6-3 市役所第二庁舎3階

電話 042-387-9836

メール s050599@koganei-shi.jp



公式LINEはじめました
小金井市の防災情報や
イベント情報など、
お役立ち情報を配信中!
ぜひフォローしてみてください。

令和6年12月発行